

2020 年度 事業報告

NPO 法人犬山あんきにくらそう会

1. はじめに

「犬山あんきにくらそう会」は 1999(平成 11)年 11 月 23 日設立総会をして、今年満 22 年、そして本日第 24 回目の通常総会を開催する運びとなりました。

NPO は、困っている人に手を差し伸べることを理念としています。NPO 活動分野の 保健、医療、福祉の分野と子どもの健全育成の分野で活動することを目的に出発しました。2000(平成 12)年 4 月に開始した介護保険法の指定事業者になることによって、「介護の社会化を地域で実現すること」をめざし、22 年間活動してきました。

会員の皆さんの協力を得て認定 NPO 法人(2016 年 6 月)を取得して、今年が初めての更新の年でした。書類審査と県による現地調査を経て 6 月 10 日に更新することができました。次の有効期間は令和 8 年 6 月までです。認定 NPO 維持のためには 100 名以上の会員維持が必要です。引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。

世界的な流行となっているコロナウィルスも最近では with コロナと言われるようになり、共存を余儀なくされているようです。今井あんきの家でも、感染予防に努めクラスターが発生しないように注意しています。今のところ利用者にも職員にも感染者は出ていません。

昨年度(第 23 回)の総会でも発表したとおり、「今井あんきの家」の施設は新築移転に向けて現在工事を進めています。前回の総会後に急展開で色々と決まり、場所は富岡前駅の近くで駅から徒歩 3 分ほどの場所です。22 年間お世話になった今井の土地を離れることには職員含め理事等にも複雑な思いがありました。今井の環境と地域の皆さんに助けられたからこそ、手探り状態で始めたこの小さな介護施設が 22 年間も続けてこられたことは間違いありません。本当に感謝しかありません。今度の場所も同じ城東中学校区です。今井の土地は離れますが、変わらず大切にしていきたいと思います。

工事詳細については別紙で順次お伝えしますが、工事の総額は 3 億を超える見通しとなっています。愛知県からの補助金が約 8,900 万円余で、三菱 UFJ 銀行からの融資が 1 億 8,000 万円となっています。残りの資金を会員の皆様からの借入金と法人の自己資金で賄う予定となっています。令和 3 年 8 月 25 日から土地の整備をはじめますが補助金をもらっているため、施設の建築完了は令和 4 年 3 月 31 日までにしなくてははいけません。施設の完全移転は令和 4 年 5 月ごろを予定しています。

グループホーム(認知症対応型共同生活介護)は現在 1 セクション(9 名定

員)ですが、2 セクション(18 名定員)へ増室となります。宅老所(小規模多機能型居宅介護)の定員は変わらず移転予定となっています。訪問看護ステーションの事務所も同時に移転予定となっています。今後はますます厳しい経営を強いられますが、22 年間培った介護力を力に引き続き努力していきます。「今井あんきの家」の財産はスタッフです。会員の皆様のお力も借りながら、より良い介護を目指して頑張っていきます。

2. 事業実施の概略

ア、 本部事業について

(1) 会員

年度	'99 年	'00 年	'01 年	'02 年	'03 年	'04 年	'04 年	'05 年	'06 年	'07 年
正会員	69 人	84 人	77 人	69 人	84 人	106 人	92 人	116 人	111 人	115 人
賛助会員	39 人	58 人	45 人	46 人	48 人	62 人	69 人	65 人	57 人	59 人
利用会員					1 人	4 人	4 人	9 人	7 人	0 人
計	108 人	142 人	122 人	115 人	133 人	172 人	165 人	190 人	175 人	174 人

年度	'08 年	'09 年	'10 年	'11 年	'12 年	'13 年	'14 年	'15 年	'16 年	'17 年
正会員	129 人	138 人	135 人	129 人	73 人	56 人	53 人	51 人	50 人	52 人
賛助会員	55 人	53 人	49 人	49 人	106 人	125 人	126 人	116 人	130 人	134 人
利用会員	0 人	0 人	0 人	1 人	2 人	1 人	2 人	5 人	2 人	0 人
計	184 人	191 人	184 人	179 人	181 人	182 人	181 人	172 人	182 人	186 人

年度	'18 年	'19 年	'20 年							
正会員	50 人	50 人	53 人							
賛助会員	136 人	142 人	134 人							
利用会員	0 人	0 人	0 人							
計	186 人	192 人	187 人							

認定NPOを維持する為には、賛助会員を含め 3,000 円以上の寄付口数が年平均 100 人以上必要ですが、今年度は 128 人でした。

2020 年度の新規会員は 10 人、退会は 16 人でした。寄付者は 38 人でした。

(2) 広報活動

① 「あんきだより」は 4 回発行しました。

第 93 号 2020 年 12 月発行
新しい決断の第 23 回通常総会
「今井あんきの家」の経営は若い世代に移りました。
20 余年、お世話になりました。
感謝状贈呈

第 94 号 2021 年 4 月発行
介護保険改定(2021 年 4 月)の内容は？
「今井あんきの家」新築移転について
高齢者施設での新型コロナウイルスワクチン接種について

第 95 号 2021 年 7 月発行
「今井あんきの家」の移転計画進む
新型コロナウイルス対策

第 96 号 2021 年 9 月発行
新築移転予定の「今井あんきの家」について
ご寄付・貸付金 ありがとうございます
第 24 回通常総会のご案内

② ホームページ

「あんきだより」の紹介を、その時々更新しました。スタッフ募集にも活躍しています。トップページに施設の空き状況も載せています。

③ ブログ

2011 年 11 月に開設したブログが、11 年目を迎えました。今井の四季折々の美しい風景や「今井あんきの家」での日常を織り交ぜながら、老人介護について綴っています。“今井あんきの家ブログ”で検索すると見つかります。「コメント」を開き記入欄に感想やご意見をお願いします。2019 年 4 月に開設したインスタグラムも 2 年半が経ち、今井あんきを家の日常をお伝えする事ができました。

④ グループホーム&宅老所「井戸端ごよみ」

あんきの家でのご利用者の様子を中心にスナップ写真とともに、2ヶ月に1度ご家族に届けました。季節ごとのイベントや施設内の様子などを伝えることができました。今後も施設の雰囲気や伝わるような季刊誌を作成していきます。

(3) ボランティア活動

新型コロナウイルス感染拡大に伴い昨年から全てのボランティアの訪問は休止していましたが、社会の感染状況に合わせ、犬山新婦人の皆様はボランティアに時々訪れて下さいました。庭の花を沢山抱えて来て下さり、生け花、歌や踊りをご利用者の皆さんと一緒にやって行うなど楽しみを工夫していただいています。活動が少なくなりがちでしたが、職員が体操やゲーム等で日々変化を持たせながらアクティビティーを続けています。

コロナ禍にあっても古タオルや古布、ご近所の方からは新鮮な野菜や果物も届けていただき、ありがたく活用させていただきました。

(4) 見学者・研修生

看護学校 2 校の「老年看護学実習」の実習施設として提供しました。

まず 1 月から 3 月迄、尾北医師会立の尾北看護専門学校 8 グループ 38 名の学生を、3 月から 10 月迄、愛北看護専門学校の 6 グループ 28 名を受入れました。ただ、緊急事態宣言の期間は実習を自粛していただきましたが、医療従事者を目指す学生でもあり、感染対策を厳重にとりながら実習を受け入れました。コロナ禍の中での実習で 1 週間ごとの実習がわずか 1 日のみになることもありました。研修生との関わりの中から、私達自身が新しい発見や介護技術の向上に役立っています。例年の今井未来園の子供達の訪問や今井小学校の児童の福祉体験は、残念ですが今年も中止となりました。

イ、介護保険事業について

(1) 小規模多機能地域密着型サービス

① グループホーム(認知症対応型共同生活介護)

グループホームの定員は、1 ユニット 9 名です。要介護 1 から要介護 5 までの 9 名の方が生活されています。この 1 年、利用者様の入れ替わりはなく、個性豊かな 9 名様協力しあって暮らしています。昨年にひきつづきコロナ禍で、利用者様にもご家族にも不自由をおかけした 1 年でしたが、室内レクリエーションやご近所への散歩などで、楽しいひとときを作らせていただきました。

② 宅老所(小規模多機能型居宅介護)

介護保険でいう小規模多機能型居宅介護事業所の事を、今井あんきの家では「宅老所」と呼んでいます。「託児所」から派生した呼び名

のようですが、「自宅のようにおとしよりに過ごしていただきたい場所」という思いが込められています。「高齢者が、最期まで自宅で暮らす為の介護サービス」と言っても良いかもしれません。

小規模多機能型居宅介護は、いわゆる「デイサービス」「ショートステイ」「訪問介護」がひとつになったサービスです。この3つのサービスを、同じ事業所・同じスタッフから提供できる事は、認知能力の低下等により、他人の顔をなかなか覚えられない高齢者には、大変メリットのあるサービスです。

現在、「宅老所・今井あんきの家」は63歳から95歳までの方が、利用されています。平均年齢は83.5歳です。認知症のある方・ない方、生活動作が自立の方・そうでない方、ご家族のある方・ない方、さまざまです。現在の契約者は22名(2021年10月時)です。今後も住み慣れた自宅で最後まで過ごせるように、ご家族・地域の方々・在宅診療・訪問看護などと連携・協力しながら利用されている皆さんを支えています。

③ 共用型デイサービス(共用型認知症対応型通所介護)

1日3人までという小規模のメニューです。グループホームの個室以外の共用部分を活用して、認知症の方に利用していただきます。グループホーム・宅老所が満室のときのつなぎに利用し、在宅介護支援の一役を担っています。一時、利用者様がいらっしゃったのですが、新型コロナウイルスの影響もあり、この一年ご利用の方はいません。

(2) 訪問看護ステーション

ようやく新型コロナとの生活に少しずつ慣れてはきましたが、油断することなく引き続き感染を予防しながら安心して療養できる様、家庭での感染症対策指導や対応方法の指導、相談にも応えています。

グループホームと医療連携体制をとり、入居者の健康管理や看取り介護のサポートもしています。週1回のミニカンファレンスにも参加し日常生活での医療的アドバイスも行うようになりました。宅老所を利用されている皆さんの心身の変化にも日ごろから気を配っています。長期お泊りされる方の訪問看護も在宅診療と連携し、希望されれば看取りまでお世話をさせてもらっています。

住み慣れた地域で生活することを支えるため、医師、ケアマネージャー、介護職員等多職種協働による在宅支援を行っています。グループ

ホームや宅老所の事業所内での感染予防対策や、勤務者や地域の方々の健康・介護・感染症等の相談もうけています。

(3) あんき事業

配食サービスは15年目を迎えました。昼食と夕食を配食しています。安否確認としても重要な役目を果たしています。みずほ教育福祉財団から配食用小型電気自動車「みずほ号」を寄贈していただき、活用しています。

コロナ禍の間、「カフェ 井戸端」はお休みしましたが、10月からは再開し、訪問看護師の協力を得て、健康チェックをしてもらい、楽しく充実した時間を過ごしています。また、地域のお年寄りから買い物や通院に行くことができないという声も上がっているため、法人としてお手伝いできないか地域の方と相談しながら、実現を目指します。

ウ、 各種会議の実施

(1) 総会・理事会

2020年度は、通常総会1回、臨時総会1回、定例理事会5回、を開催しました。

第23回通常総会 出席者 58人(内委任状提出者 22人)

日時 2020年11月23日(月・祝) 13時30分～

場所 市民健康館(さら・さくら) 1F 交流ホール

臨時総会 出席者 47人(内委任状提出者 35人)

日時 2021年8月5日(木) 13時30分～

場所 今井あんきの家「あんきサロン」

第1回理事会 出席者 理事等 8人

日時 2020年11月10日(火) 13時30分～

場所 今井ふれあいセンター

議題 ①2020年8月～2020年10月利用者実績報告

②第23回通常総会準備

- ・会計報告の件
- ・代表理事(案)選出の件
- ・今井あんきの家移転(案)の件

第 2 回理事会 出席者 理事等 11 人

日 時 2020 年 11 月 27 日(火) 9 時～

場 所 今井あんきの家

議 題 ①理事長選定の件

第 3 回理事会 出席者 理事等 11 人

日 時 2021 年 3 月 26 日(火) 13 時 30 分～

場 所 今井ふれあいセンター

課 題 ①2020 年 12 月～2021 年 2 月利用者実績報告

②移転についての経過報告

③認定 NPO 更新申請の件

④今井地区中学生送迎事業の件

第 4 回理事会 出席者 理事等 11 人

日 時 2021 年 7 月 10 日(土) 13 時 30 分～

場 所 今井ふれあいセンター

課 題 ①多額の借財の件(議事録署名)

②2021 年 3 月～2021 年 5 月利用者実績報告

③認定 NPO 更新申請の報告

④今井あんきの家跡地の活用について

第 5 回理事会 出席者 理事等 11 人

日 時 2021 年 8 月 5 日(木) 14 時 30 分～

場 所 あんきサロン

課 題 ①資産の担保提供の件

(2) 運営会議

毎月第 3 金曜日午前中に定例化して開催しました。運営委員は代表理事と職員の代表 11 人で構成、月 1 回で年 12 回開催しました。

(3) 各事業所スタッフ会議兼内部研修等

新型コロナウイルス感染拡大に伴い 3 密を避ける配慮から、グループホーム、宅老所を同日で時間帯をずらし 11 回開催しました。2021 年 9 月からはスタッフ間の円滑な情報伝達と意思統一をはかるため、感染対

策に配慮しながらグループホームと宅老所合同会議にしました。事前に管理者会議を行い議題の精査と会議進行の円滑化をはかるための意思統一をはかりました。

(4) 地域密着型運営推進会議

運営推進会議は、法律で 2 ヶ月に1回の開催が義務づけられています。第 85 回から第 90 回の 6 回は、昨年に引き続き書面審議での開催となりました。又、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)においては、必須とされていた評価機関による外部評価が、令和 3 年度の制度改正により運営推進会議を活用した評価を選択できるようになりました。それに伴い、5 月から小規模多機能型居宅介護とは別で、それぞれ独立した会議といたしました。

犬山市長寿社会課、城東地区高齢者あんしん相談センター、今井区長、今井老人クラブ会長、城東中学校区の民生委員の皆様、利用者のご家族様に議案を送付させていただき、地域の高齢者の現状や、コロナ対策、今井あんきの家の経営などをお伝えしました。

また、身体拘束防止委員会としての役割も兼ねており、現状の報告をいたしました。